

製品名: T2R16 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18561**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	TAS2R16
別名	TAS2R16; Taste receptor type 2 member 16; T2R16
遺伝子 ID	50833.0
SwissProt ID	Q9NYV7
免疫原	抗血清はヒト TAS2R16 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 136-185

背景

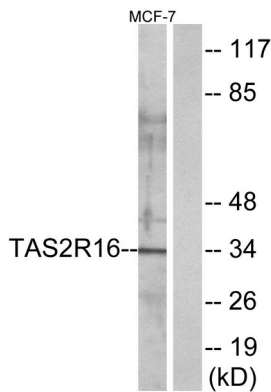
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体スーパーファミリーに属する候補味覚受容体ファミリーのメンバーをコードしています。これらのファミリーメンバーは、舌および口蓋上皮の味覚受容体細胞に特異的に発現しています。これらの一見イントロンのない遺伝

子はそれぞれ、苦味受容体として機能する7回膜貫通型受容体タンパク質をコードしています。この遺伝子は、7番染色体上で他の3つの候補味覚受容体遺伝子とともにクラスター化しており、苦味知覚に影響を与える遺伝子座と遺伝的に連鎖しています。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: 口腔および消化管における苦味化合物の知覚に関与するガストデューシン共役受容体。PLCB2およびカルシウム調節性カチオンチャンネル TRPM5 を介したシグナル伝達。、その他: 味覚感受性のないマウスにサリシンの苦味知覚を与える。、その他: 単一の味覚受容体細胞に複数の苦味受容体が発現する。、多型: TAS2R16 の Lys-172 多型は、アルコール依存症に対する遺伝的感受性と関連している[MIM:103780]。、類似性: G タンパク質共役受容体 T2R ファミリーに属する。、組織特異性: 舌のガストデューシン陽性味覚受容体細胞のサブセットで発現する。、

研究分野

味覚伝達;

画像データ



TAS2R16 抗体を用いた MCF-7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。